

令和5年度第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和5年5月26日（水）13：00～14：15

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・短大副学長・教授
3	吉田 悦教	常任理事・特任教授
4	山浦 裕幸	大学副学長・経済学部長・教授・理事・評議員
5	横山 洋子	短大こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	安藤 あづさ	高校教頭・評議員
9	秋元 浩	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	堀井 満美	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	伊敷 郁恵	千葉経済大学父母の会会長・評議員
12	片桐 健太郎	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
13	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
14	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
15	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・評議員
16	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
17	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
18	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
19	石渡 哲彦	株式会社千葉銀行顧問・評議員
20	佐久間 道子	評議員
21	栗沢 尚志	教授・評議員
22	藤生 裕	大学経済学科長・教授・評議員
23	積田 悟	前高校副校長・評議員
24	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
25	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
26	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】令和4年度事業報告について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添1「学校法人千葉経済学園令和4年度事業報告書」に基づき、法人の概要、事業の概要、財務の概要について説明がなされた。

事業の概要

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保・向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて教育研究を推進した。

新型コロナウイルス感染拡大防止に引き続き万全を期するとともに、学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行った。

令和4年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

[千葉経済学園]

(1) 建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、「今月の論語」の教室掲示や総合図書館の「論語コーナー」設置等の多様な取組みを通じて周知徹底を図った。

(2) 大学・短期大学・高校の三者連携推進

「千葉経済学園三者連携会議」を軸に、教育、入試、進路指導、広報、学生・生徒の諸活動等にわたって三者間の密なる機能連携を図った。

(3) 学園情報のデータベース化

学園全部門の文書資料の体系化とデジタル化及びデータベース化に向け、費用対効果を踏まえつつ、継続して検討することとした。

(4) 感染症対策を講じた授業運営

引き続き新型コロナウイルス感染症対策の諸措置を講じ、対面（面接）授業を中心とする授業運営により、学生・生徒への教育の質の充実に努めた。

(5) ボランティア活動の推進

地域からのニーズに応える形で、学生・生徒が「X Games CHIBA 2022 大会」、「青葉の森りレーマラソン」、「壁画ワークショップ」、「ウェルフェアマルシェ」、「千葉・県民芸術祭「中央行事」」、「千葉シティトライアスロン」、「くさ野あかり祭（夜灯）」、「千葉湊大漁まつり募金活動」、「ちばアクアラインマラソン」、「こども夢の商店街」などでのボランティア活動を行い、教職員もそれらに同行した。また、地域への感謝を届けるため、県内企業との商品開発も進めている。

(6) 資格取得奨励

大学・短期大学・高校のそれぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与した（延べ人数で大学 35 名、短期大学 19 名、高校 47 名）。

(7) 防災備蓄の整備

引き続き大学・短期大学・高校の学生・生徒・教職員用に非常用食料や毛布等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備えた対策を実施した。

(8) 働き方改革関連法への対応

育児・介護休業法の改正、その他の労働条件の改善や雇用形態の異なる職員間の均衡の取れた待遇を確保し得るよう関係規程を見直した。

(9) 教職員及び学生・生徒の職域接種の実施

地域の医療機関と連携して、学内において教職員に対し、新型コロナウイルスの 4 回目及び 5 回目接種を実施した。

(10) 学園 90 周年記念事業

学園創立 90 周年記念誌（タブロイド判 12 ページ）を発行した。

[千葉経済大学附属高等学校]

(1) 「令和の日本型学校教育」構築に向けた教育の充実

「主体的・対話的で深い学び」の実現に努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を適切に連動させて、生徒一人ひとりの可能性を引き出す授業展開に努めた。

(2) 観点別評価を活かした学習評価とキャリアパスポートによる指導の充実

観点別評価を導入し 3 観点（「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」）の学習評価に取り組んだ。また、生徒には、キャリアパスポートにより自らの

学習状況やキャリア形成支援の充実を図った。

(3) 教育環境の整備

- ① 新校舎の空調機器更新工事は、2～3年目工事分を部品調達の制約に鑑み、一括して令和4年度に実施した。それにより新校舎全体の空調機更新工事は完了した。
- ② 各教室、体育館でWi-Fiが利用できるように無線LAN環境を整備した。
- ③ 全教員（非常勤教員含む）を対象としてSurface Go 3を導入した。
- ④ 既存パソコン教室に加えて、パソコン41台を備えたパソコン教室（1教室）を新設した。

(4) 授業内容の充実による学力の向上

令和5年度入学生からの新教育課程への初年度として、1学年の指導内容について、各教科内で指導の充実と統一性を図るよう教材研究を進めた。また、生徒自身が自らの学習を振り返って学習に向かうことができるようにするための、3観点による観点別評価が的確に行えるよう努めた。授業におけるICTの有効利活用については、教員へのタブレット配布が完了し、令和5年度生からのタブレット導入に向け準備を進めた。

(5) 特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

特進プロジェクトチームによる、進学への意識向上に向けた指導や、特進講座・特進補習により学力の向上・定着を図ってきた。その結果、今年度の特進クラス3年生は、千葉大学の教育学部をはじめ明治大学・同志社大学・立命館大学など多くの難関大学への合格実績を出すことができた。

(6) 専門科教育の充実

専門科の目標とする資格取得において、商業科1年生の簿記3級合格率は98%、情報処理科では、情報処理検定3級合格者は全体の93.7%であった。高度資格についても、ITパスポートに17名合格するなど、多くの成果を出すことができた。

商業科の課題研究においては開発商品の販売実習を文化祭で行うとともに、千葉ペリエや椿森コナムなどで実施した。

また、昨年に引き続き商業科1年生対象に、株式会社ZOZO（フレンドシップマネージメント部）による講演を「楽しく働く」のテーマで実施した。

(7) 部活動の振興

適正な部活動運営に務めながら、結果も残すことができた。

運動部においては、ソフトボール部・バスケットボール部・卓球部・自転車競技部・ボクシング部・柔道部が関東大会・全国大会に出場し、ソフトボール部は全国3位となった。文

化部についても、珠算部・将棋部・軽音楽部・バトントワラーズ部が全国大会に出場した。

(8) 定員確保のための生徒募集活動の遂行及び広報活動

オープンキャンパス・入試説明会は昨年引き続き予約制とし、参加人数の上限を決めて開催するなど感染拡大防止策をとりながら、入試広報委員会を中心に全職員で生徒募集にあたった。定員を上回る 639 名の新入生を確保することができ、情報処理科が依然として人気が高かった。普通科の文理一般コースの歩留まりが予想を上回った。

(9) いじめ及び体罰の防止

いじめについては、教員相互の協力のもと早期発見に努め、深刻となるような問題は発生しなかった。

(10) 教員研修の充実

新型コロナウイルス感染の影響も収まりつつある中、今年度は中高協会主催の初任者研修に参加するなど、校内における研修と併せて、高教研等外部の研修にも積極的に参加した。

以上

【2】令和4年度決算について

議長の指名により、石井 伸 会計課課長代理から、令和4年度決算について別添2「令和4年度 学校法人計算書」に基づき、資金収支決算額、事業活動収支決算額及び令和5年3月31日現在の貸借対照表について説明が行われた。続いて、議長から本決算に関する意見を求めたところ、青柳 俊一 監事から、青柳 俊一、植松 省自 両監事より提出された監査報告書(資料1)に基づき学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことが認められた旨報告がなされた。

【3】その他(報告事項等)

議長の指名により、飯島 一生 高等学校副校長より高等学校の近況報告についての報告があった。

附属高校の方は4月7日に入学式がありまして、新入生 639 名を迎えました。全校生徒 1,782 名で、新学期をスタートしております。今年度は、新教育課程2年目と言うことで、事業報告のなかでもありました様に新1年生からは全員がタブレット購入と言うことで

6月に入りますと端末の方も届く予定になっております。新たに教育活動も始まりまして教員がまず、しっかりと研修を積んで新しい教育に取り組む必要が出てくるかと思えます。また、学校行事につきましては、コロナ関連の制約も解けて5月2日に学年別の校外レクを無事実施いたしました。この後、来週は陸上競技会が予定されております。秋には文化祭が数年ぶりに2日間開催で、保護者を入れての通常開催と言う予定で実行委員会が進めております。修学旅行につきましては九州まではまだ行けませんが関西方面に変更しまして2泊3日で修学旅行実施の予定であります。現在、運動部関係では、関東大会が終了したところで、この春の関東大会はバスケットボール部・自転車競技部・ボクシング部・卓球部・柔道部・体操競技部が県大会を勝ち上がっております。

満足度調査結果 全科全学年<R5年3月度>

授業の満足度が前回調査(昨年7月調査)よりも下がっておりまして、見開きの中身を見てみますと2年生が落ち込んでいる傾向があります。中だるみ傾向の表れかなと言うようなところもありますが、友人関係や自己の成長と言ったところに関しては、高い数字が出ているのですが、調査をもとに、いろいろと工夫をしながら生徒達の学力向上に努めてまいりたいと思えます。

・意見

積極的に投資したのは未来への投資と言う意味では、学生・生徒の学習環境のクオリティを高めています。また働いている先生方の環境も他校と比べても良い環境で研究や授業が出来ており、これから子どもが減って行くなかで空き教室など環境が変わってくると思えます。今ある見える資産を将来の学園の何に使ったら良いかと言う事業計画を作成するのだと思えます。良い環境の中で千葉の未来を担う学生生徒の育成を非常に楽しみにしていますとの意見が出された。